

# まどか 通信



社会福祉法人 まどか

〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目 13 番 26 号

☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)

E-Mail : madoca1643@nifty.com

<http://madoca1643.style.coocan.jp/> (Homepage)

<http://www.facebook.com/madoca1643/> (Facebook)

令和 3 年 11 月 1 日

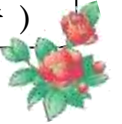
第 6 5 号

発行責任者：神谷 和孝

発行：社会福祉法人 まどか

編集責任者：高橋 恒二郎

(2月・5月・8月・11月 発行)



## 巻頭言

理事長 神谷 和孝

コロナ禍の報道も日を迫うごとに新規感染者数も減少してきているようで、挙国一致の言葉を実感していますが、気持ちをゆるませず頑張らせます。

さて、つい最近、利用者のある方から「まどか通信の理事長の巻頭言を読んでいます、どうしたらあのように上手に文章が書けるのですか。」と質問を受けました。私は自分自身が上手に文章を書けるとは全く思ってもいないので、なんだか面がゆくも、また嬉しく思い、この利用者の方の質問に本気で答えてあげたいと思いました。

私の巻頭言について少しふれると、例えば今月の巻頭言が印刷されて皆さんの目に触れた時から、次の号の巻頭言は何について書こうかな、との思いが頭の中に芽生えてきて、次号の原稿を書くまで頭の中から消えず、いざ巻頭言の原稿をと筆をとると諸々の思いが一つの文章に繋がって筆の運びをスムーズにして呉れるのです。

最近の人は年齢を問わず殆どの方がワープロに頼み、万年筆やボールペンで文章を書かなくなっており、その影響でお互いの気持ちを伝える手紙も書かなくなってきました。手紙は人と人の気持ちをつなぐ大切な役割を持っているのです。

私のつたない巻頭言を読んでもくださった皆さん。親しい人に手紙を書いてみられてはどうでしょう。

私に質問してくれる利用者の方とは、今後も時間をかけて質問に答えていきたいです。



今年は残暑というには暑い日が続きましたね☀️ここ数日で急に朝晩が冷え込んできたように思います。市内での感染状況は落ち着きつつありますが、今年はインフルエンザの流行も心配されています。体調管理にも気を配りつつ、お仕事がんばりましょう☆

## 避難訓練



9月30日、とまり木と合同で恒例となっている避難訓練を実施しました。面談室も兼ねている台所から出火した想定で、「火事だー！！」の第一声のあと避難を開始。新しい職員さんや利用者さんもある中でしたが、皆さん慣れた様子で目立った混乱もなく無事に避難完了できました。

また、洪水等を想定した避難経路の確認も行い、災害発生時の避難経路に危険な箇所がないかの確認もできました。有事に備えて日頃の準備と確認をしっかりと行っていきます。



# ～とまり木通信～



今は10月。

新型コロナ感染症の広がり収まりつつあり、

広島県も緊急事態宣言が解除された時にこの原稿を書いております。

約2年近くの間「自粛」と言う我慢の時間を利用者をお願いしていた分

「長谷川さん、もう少し治まったら〇〇しよな」

「〇〇へ行きたい」

と、色々なレクへの要望が聞こえてきます。

ほとんどの利用者がワクチン接種行い、今のまま調子で治まって前のように色々な活動ができる事を期待しています。



前のように  
色々なレク  
したいですね！！



# 「東京つくし会（家族会）50年の軌跡」

福山市精神保健福祉家族会（バラ会）

会長 きたむら たまき  
北村 環

## 「東京つくし会（家族会）の50年記念誌」から

福山の家族会（バラ会）の当時の様子については、よくわかりませんが、東京の家族会の会誌から、当時の社会の状況を知ることはできます。

東京つくし会は病院家族会6と地域家族会4の合計10家族会で発足しました。当時は、今よりも精神障害者に対する偏見や差別が強く、家族は地域で孤立していました。当時はみんな泣きながら生活していましたが、保健所の職員の人に、家族をみんなで励ましあっていく会が必要だということと言われて、涙ながらに会をつくり会場も確保したとありました。みんなが自分の家の機材を持ち寄り、みんなが集まって話し合いができる事務所をつくったのです。

## つらかったこともあったが楽しかった！

当時は、作業所をつくることにも地域から反対され、同じ障害者の身体・知的障害者からも差別を受けたりして苦労をしました。しかし、それに負けず作業所やさまざまなカフェ、グループホームなどをつくり、社会参加を広めていきました。他県の家族会や全国の家族会と連携しながら、少しずつ活動を広げていったのです。

各家族会は、孤立しがちな精神障害者家族への相談活動を行い、家族同士の学習・交流活動をすすめながら、精神障害当事者が適切な医療を受け、地域で安心して暮らせるための制度や共同作業所、グループホーム等の社会資源をつくるために、そのような差別や偏見をはじめとした困難な状況を切り開いてきました。

## 家族会のこれから、勇気・希望・・・

2016年4月に「障害者差別解消法」ができ、差別や偏見に対すとりくみが遅れている精神障害者にとって、今こそ絶好のチャンスだと思います。三障害一元化といっても、精神障害者への福祉はまだまだ遅れています。その点ももっとしっかりとっていかねばなりません。そのためにも私たちもしっかり勉強していきましょう。もっともっと平和な社会の実現のためには、みんなが学習し、努力していかなければなりません。

今後の方向として、精神障害者が家族支援の充実を要望していくとともに、精神障害者が地域住民の一員として安心して暮らし、「自分は社会から必要とされていると思える」社会づくりをめざして、これからも歩み続けたいと思っています。

これからの障害者運動は、障害がある人もない人も共に住みよい社会づくりをめざして歩み続けたいと思います。自分たちにとって平和で住みよい社会は、誰にとっても住みよい社会です。

## ～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

### ★ 法人まどかへの善意

- ・村田紀美子・岡田美枝・福山市精神保健福祉家族会（バラ会）会長 北村環
- ・植山雅子・中島浩一・岩田人志

### ★ 法人まどかへのボランティア

- ・國貞将志・村田紀美子

### ★ 福山市精神障害者家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

### 仕事を探しています

こんな仕事は頼める？  
どこまでやってもらえるの？  
まずは、ご連絡ください！

### 見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…  
どんな事をしているの？  
お気軽にお問い合わせください！

### ボランティア

何かできないかな？  
一緒に手伝いたい…  
ご連絡をお待ちしています♪

今後の予定（令和3年11月以降、令和4年1月まで）

令和3年12月28日	仕事納め
令和4年1月4日	仕事始め

季節行事については、市内の感染状況等を踏まえ  
感染対策を十分に行う中での実施を検討していきます。

### 編集後記

入社して早くも半年が経ちましたがさて？皆さんのお役に立ててるのでしょうか？いつでも気軽に声をかけていただけると嬉しいです！秋はスポーツですね。と言いたいのですが私は食欲の秋です。美味しいものがたくさんありますよね笑 焼き芋やスイートポテトに芋餅、ポタージュ、コロッケなど秋と言えば芋🍠お芋さんです！大好きなんですよ(笑) 福山はコロナ感染者も少なくなりましたね。お陰で入社して初めてのBBQが行われました👨🍻参加者の方々楽しめましたか??このまま緊急事態宣言も蔓延防止も解除されたままだと今後いろんな行事が行われるかもしれないので楽しみです。それでもまだまだ不安なのでソーシャルディスタンスを保ちながら感染対策（マスクや手指消毒、黙食）を怠らずに過ごしていきたいです。（すみれ工房 職業指導員 頼政利枝）

Facebook



HomePage

